

## 昭和 62 年夏期シンポジウムの報告

高橋 教 夫

1987年夏期シンポジウムは、8月5日(水)から7日(金)までの3日間、山形県羽黒町にある羽黒国民休暇村で開催されました。ここにその概要を報告いたします。

参加者は総勢58名でした。この中には家族で参加された方、また、タンザニアとオーストラリアから来日中の方もおられ、家族交流、国際交流の場にもなりました。

見学会では、前日の雨による林道の通行止めで予定が一部変更にはなりましたが、庄内地方の海から山まで見ることができました。また、ほぼ全員の参加者が羽黒山参道の2,446段の石段を踏破してその認定証を授与され、研究会会員の健脚はさすがと思わせました。

最終日には、大貫仁人氏の司会によって、6名の会員の研究発表が行われました。会場にコンピュータを持ち込んでの発表等もあり、活発な論議が交わされました。しかし、論議を十分に深めるには発表時間が短か過ぎたと、会場設営を担当したものとして反省しています。

最後になりましたが、今回のシンポジウムを行うにあたって、出羽三山神社社務所営林部の石向締吉氏、羽黒町役場と鶴岡営林署の方々をはじめ多くの方々に大変お世話になりました。ここに厚くお礼申し上げます。

(1) 期 日：1987年8月5日(水)～8月7日(金)

(2) 場 所：羽黒国民休暇村

山形県東田川郡羽黒町手向(とうげ) TEL 0235(62)4270

(3) テーマ：リモートセンシングと森林施業

(4) 日 程：8月5日(水) 現地集合(17:00まで)

夜 懇親会

8月6日(木) 見学会

午前 特別天然記念物羽黒山参道杉並木

田谷村杉(面積約1.2ha, 林齢約175年, 1ha当り本数239本, 1ha当り材積2,100m<sup>3</sup>, 平均胸高直径78.6cmの人工林)

三神合祭殿

昼 神社斎館で昼食(精進料理)

午後 善宝寺

庄内砂丘とクロマツ林

8月7日(金) 午前 研究発表会

午後 国民休暇村にて解散

(5) シンポジウムの演題と講師

「ランドサットによる伐採照査」

粟屋善雄(林業試験場)

「パーソナルコンピュータによるリモートセンシング

データ処理システム —FREDAM—」

露木 聡(東京大学)

「リモートセンシング・データによる森林管理のための

データベースの作成とその応用」

妹尾俊夫(京都府立大学)

「GIS(森林施業のための地理情報)」

木平勇吉(信州大学)

「軟X線写真による樹木の年輪解析」

野堀嘉裕(王子林木育種研究所)

「学術用語について —生長か成長か?—」

大友栄松(東京国際大学)

